

バンガード®・MSCI・パシフィックETF

2011年9月30日現在

VPL

投資アプローチ

- MSCI®パシフィック・インデックスのパフォーマンスへの連動を目指します。
- 太平洋地域の普通株式を対象にします。
- 完全法を用いたパッシブ運用を採用します。
- ファンドはフルインベストメントを維持します。
- 低経費によってトラッキングエラーを最小限に抑えます。
- このETFの旧名はバンガード・パシフィックETFです。

ベンチマークについて

- MSCIパシフィック・インデックスは、太平洋地域の株式市場のパフォーマンスを幅広く反映するように構成されています。
- 日本、オーストラリア、香港、ニュージーランド、シンガポールが含まれています。

パフォーマンス実績

2011年9月30日までのトータルリターン²

VPL (設定2005年3月4日)	四半期	年初来	1年間	3年間	5年間	設定来
基準価額 (NAV) リターン ³	-13.49%	-14.52%	-5.71%	1.05%	-2.24%	1.69%
市場価格リターン ⁴	-14.27	-15.03	-6.39	0.73	-2.44	1.58
MSCI パシフィック・インデックス	-11.70	-13.48	-4.27	2.37	-2.09	1.86

上に掲げたパフォーマンスのデータは過去の実績であり、今後の結果を保証するものではありません。投資リターンと元金価額は変動しますので、投資家はその持分を売却する時には、その価値が当初のコストを上回っていることも、また下回っていることもあります。また現在のパフォーマンスは上述のデータを下回っていることも、また上回っていることもあります。直近月末までのパフォーマンスのデータにつきましては、バンガードのウェブサイト vanguard.com/performance をご覧ください。

インデックスに直接投資することはできません。

投資商品：FDIC保険対象外・銀行保証なし・投資元金損失のリスクあり

概要

ベンチマーク	MSCIパシフィック・インデックス
経費率 ¹	0.14%
配当スケジュール	年1回
ETF純資産総額	13.98億米ドル
ファンド純資産総額	36.91億米ドル
設定日	2005年3月4日

取引情報

ティッカー・シンボル	VPL
CUSIP番号	922042866
IIV (イントラデイ・ティッカー)	VPL.IV
インデックス・ティッカー	MXPC
上場取引所	NYSE Arca

ETFの主なデータ

	バンガード・MSCI・パシフィックETF	MSCIパシフィック・インデックス
構成株式銘柄数	469	466
時価総額の中央値	157億米ドル	157億米ドル
株価収益率	12.5倍	12.5倍
株価純資産倍率	1.1倍	1.1倍
株主資本利益率	11.5%	11.5%
利益成長率	-6.2%	-6.1%
株式利回り	3.2%	3.2%
売買回転率 ⁵	2.9%	—
標準偏差 ⁶	23.0%	21.4%

¹ 直近の目論見書の記載から (2011年2月25日付)。ファンドの現在の経費率は、目論見書に記載されている数値よりも低い、または高い可能性があります。

² 1年未満の期間の数値は累積のリターンです。それ以外の数値は平均の年次リターンを示しています。ファンドのパフォーマンス実績は、配当金とキャピタルゲインの再投資を含む、税引前および経費差引後の数値です。ベンチマークとなるインデックスが示すのは、さまざまな金融資産にかかる、ファンドマネジャーによる運用がされていないリターン、あるいは平均リターンであり、ファンドの相対的なパフォーマンスを検討する上で、ファンドのトータルリターンとの比較対象となります。

³ 米国東部時間午後4時、すなわちニューヨーク証券取引所の大引け時の基準価額。

⁴ 市場価格リターンは、NAVの計算が行われる時間、すなわち通常は米国東部時間午後4時における売り買い気配値の中間値を用いて計算します。

⁵ 最新の会計年度の数字。売買回転率の計算には、バンガードETFのクリエイション・ユニット (原資産バスケット) の引渡しを含む、現物による設定・解約の結果受渡しされる証券価額は含まれません。

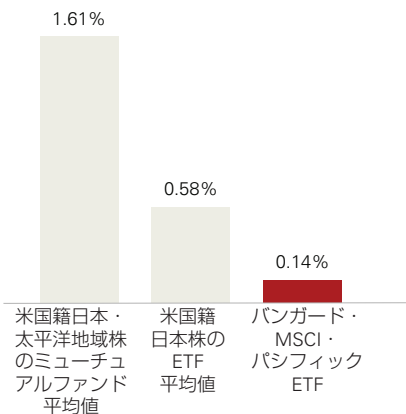
⁶ ファンドの変動率の指標の一つで、過去のリターンの分散の程度を示します。過去3年間の月次リターンを基に計算し、標準偏差の値が大きいほど、潜在的な変動率が高いこととなります。過去のパフォーマンス実績が36カ月に満たないファンドについては、標準偏差は計算されません。

バンガード・MSCI・パシフィックETF

2011年9月30日現在

VPL

経費率の比較¹



国別分散比率 (%)

日本	64.2%
オーストラリア	23.3
香港	7.4
シンガポール	4.7
ニュージーランド	0.4

Vanguard ETF™は、インデックス運用で他をリードするバンガードの専門知識を活かした低コストの上場投資信託です。

保有上位10銘柄と純資産総額に占める割合 (%)²

BHP Billiton Ltd.	3.2%
トヨタ自動車	2.8
Commonwealth Bank of Australia	2.0
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1.8
Westpac Banking Corp	1.8
キャノン	1.5
Australia & New Zealand Banking Group Ltd	1.4
本田技研工業	1.4
National Australia Bank Ltd	1.4
三井住友フィナンシャルグループ	1.1
純資産総額に占める上位10銘柄の割合	18.4%



¹ 直近の目論見書に記載されているバンガードETFの経費率です。ミューチュアルファンドとETFとの間には大きな違いがあります。ETFはミューチュアルファンドと異なり、流通市場において終日にわたって絶えず値付けされ、証券ブローカーの仲介によって（基準価額にプレミアム/ディスカウントを加えて）売買されています。そして、この仲介に対しては手数料が支払われます。出所：Lipper Inc.およびVanguard® 2010年12月31日

² 記載された保有銘柄には一時的な現金投資および株式インデックス商品は含まれません。

バンガードETFにおける受益証券の設定または交換は、クリエーション・ユニット（原資産バスケットおよび現金）の引渡しによってのみ行われます。投資家は、流通市場において証券ブローカーの仲介により、バンガードETFの受益証券の売買を行わなければなりません。その際、投資家には仲介手数料がかかり、ETF購入の際には基準価額を超える金額を支払い、また売却時には基準価額を下回る金額を受け取る可能性があります。

すべてのETF商品はリスクにさらされており、元金が失われるおそれがあります。世界各国への投資を行うETF商品には、通貨の変動あるいは特定の国々や地域における混乱などのリスクが加わります。

ここで紹介されているThe Vanguard GroupのMSCIインデックス連動型ファンドまたは証券に関して、MSCIはスポンサーではなく、またその保証ないし販売促進もしておらず、さらに、それらファンドまたは証券に関する責任を負うものではありません。それらファンドまたは証券に関して、MSCIがThe Vanguard Groupとの間で有する限定的な関係については、目論見書に詳しく述べられています。

バンガードETFについての詳しい情報は取扱証券会社にお問い合わせください。また、投資目的、リスク、手数料、経費、その他重要情報等を十分にご検討ください。